

授業科目	憲法学	単位数	講義 2単位
担当教員	渡 邊 弘		
教員略歴	<p>現職:2016年～現在に至る 鹿児島大学 共通教育センター 准教授。</p> <p>現職:加治木看護専門学校非常勤講師、今村学園ライセンスアカデミー(栄養士科)非常勤講師。北星学園大学非常勤講師。</p> <p>日本弁護士連合会事務局職員、法政大学第二高等学校教諭(社会科)、活水女子大学准教授、長崎女子短期大学(幼児教育学科)非常勤講師などを経て、上記現職。</p>		
授業目標	<p>日本国憲法はわが国の最高法規であるとともに、国家と個人の関係を規律する基本法である。その目的は個人の尊重(13条参照)にあり、それを実現するために、基本的人権や統治機構などについての定めをおいている。</p> <p>本科目では、憲法学の学問的成果をふまえ、以下のような能力を涵養することを授業の目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 立憲主義的・民主主義的な憲法一般と日本国憲法の目的をふまえ、憲法(学)的な観点から様々な社会事象について分析し、また、それら社会事象が有する課題について考察し、それらの内容を説明することができる。 2. 日本国憲法の定める基本的人権の保障について、具体的事件を挙げつつ、裁判での判断の在り方やその保障のあるべき内容を説明することができる。 3. 日本国憲法の定める統治機構や平和主義などの内容について、具体的事件を挙げつつ、説明することができる。 		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 憲法概論:法・憲法とは何か、日本国憲法の目的と内容構成、日本国憲法制定史、天皇制 2. 日本国憲法の基本的な原則:平和主義、基本的人権の尊重、権力分立 3. 包括的な基本的人権(1):幸福追求権、自己決定権、法の下での平等、公共の福祉 4. 包括的な基本的人権(2):法の下での平等、差別の禁止、家族関係における両性の本質的平等 5. 精神的自由(1):思想の自由、信教の自由と政教分離の原則 6. 精神的自由(2):表現の自由、学問の自由 7. 経済的自由:居住・移転・職業選択の自由、国籍離脱の自由、財産権 8. 身体の自由と適正手続(1):身体の自由、裁判を受ける権利、適正手続主義 9. 身体の自由と適正手続(2):刑事裁判の原則と実態、刑事補償請求権 10. 社会権:生存権、教育を受ける権利、労働権、労働基本権 11. 参政権・国務請求権:公務員選定罷免権、請願権、国家賠償請求権 12. 立法権・国会:国権の最高機関、唯一の立法機関、国会のその他の権能 13. 行政権・内閣:内閣の地位と権能、内閣総理大臣の権能と責務、国務大臣、内閣の責任 14. 司法権・裁判所:司法権の概念、最高裁判所と下級裁判所、違憲審査権 15. 財政・地方自治:財政の原則、地方公共団体の権能、地方公共団体と国との関係 		
教材にかかわる情報	<ul style="list-style-type: none"> ・「憲法」(豊岡短期大学テキスト)。 ・「ポケット六法(令和8年版)」(有斐閣)。 ・その他、適宜プリントを配布する。 		
評価にかかわる情報	<p>以下の3点を総合的に勘案した上で評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)各回の授業で課される課題(リアクションペーパーなどを含む)の提出状況と内容。 (2)豊岡短期大学指定のレポート。 (3)科目試験。 		
実務経験のある教員による実践的授業	<ol style="list-style-type: none"> (1)司法権・裁判所や身体の自由と適正手続:日本弁護士連合会事務局職員としての経験を活用して指導を行う。 (2)教育を受ける権利:高校教員としての経験を活用して指導を行う。 		

授業科目	情報処理演習	単位数	演習1単位
担当教員	海田 孝志		
教員略歴	第一工業大学工学部電子工学科卒業 鹿児島県立川内商工高等学校期限付き教諭を経て神村学園高等部常勤教諭 中学校教諭一種免許技術、高等学校教諭一種工業・情報		
授業目標	情報システムの発展と役割について理解を深め、これからの情報社会を生きる上で必要となる基礎知識と技術を身に付けます。		
授業内容	1. 情報化社会 2. コンピュータの発展 3. ハードウェア 4. ソフトウェア 5. 情報ネットワーク 6. インターネット 7. 情報システムの課題 8. windows の基礎操作 9. 文章作成の基礎① 10. 文章作成の基礎② 11. 文章作成の基礎③ 12. 表計算の基礎① 13. 表計算の基礎② 14. 表計算の基礎③ 15. プレゼンテーション		
教材にかかわる情報	「情報リテラシーと処理技術」豊岡短期大学配本テキスト 「30時間でマスターoffice2024」実教出版		
評価にかかわる情報	受講態度、課題提出の状況、豊岡短期大学指定のレポート作成内容及び科目試験の点数を総合的に判断し評価します		
実務経験のある教員による実践的授業			

授業科目	生物学	単位数	講義2単位
担当教員	鮫島 正道		
教員略歴	名古屋大学大学院農学部生体機構学修了(農学博士) 鹿児島大学法文学部、教育学部、農学部客員教授、第一幼児教育短期大学教授 平成24年4月から神村学園専修学校こども学科非常勤講師「生物学」、「保育内容演習(環境)」を担当		
授業目標	地球上に多くの生物種が生息する姿を浮上させ、その種が環境と関わりつつ生活し、それぞれの種が歴史時間を経て現在に至った事(分類、生態、進化)を明確に理解させる。また、保育者に必要な動植物についての知識や指導力を養い、地球環境問題も理解させる。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 生物学と生命の探求 3. 人間の生活と生物① 4. 人間の生活と生物② 5. 分類学① 6. 分類学② 7. 形態学① 8. 形態学② 9. 形態学③ 10. 形態学④ 11. 生態学① 12. 生態学② 13. 生態学③ 14. 幼児と生き物① 15. 幼児と生き物② 		
教材にかかわる情報			
評価にかかわる情報	受講態度、終講試験の結果を総合的に判断する		
実務経験のある教員による実践的授業			

授業科目	保育の国語	単位数	講義2単位
担当教員	船津 啓治		
教員略歴	鳴門教育大学大学院 学校教育研究科教科・領域教育専攻 言語系コース(国語)修了 長年、鹿児島県内(奄美市、薩摩川内市、霧島市、姶良市、屋久島町、曾於市)の小学校勤務 現在、神村学園専修学校こども学科専任講師 免許・資格:幼稚園教諭、小学校教諭専修、中学校教諭(国語)、司書教諭		
授業目標	基本的な保育用語の意味を理解し、分かりやすい言葉で正しく伝える。また、正しく受け取ることができるように、保育専門職としての国語表現力の向上を図る。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目指す学生として必要な知識、オリエンテーション 2. 確認したい保育基礎用語 3. 保育の方法・形態 4. 保育の計画・子どもの遊び 5. 子どもの発達 6. 生活と栄養 7. 安全と健康・保健 8. 障がい児保育・気になる子ども 9. 子育て支援 10. 保育者としての職務・安全管理 11. お礼状・連絡帳・園便りの書き方 12. 電話のかけ方、受け方・メールの伝え方 13. 正しい敬語の使い方・公文書の書き方 14. 保育基本用語の漢字総まとめ(STEP1～4評価テスト) 15. 保育基本用語の漢字総まとめ(STEP5～8評価テスト) <p style="text-align: center;">※ 「実習日誌の漢字を書いてみよう」(4月～3月)の自己評価及び相互評価</p>		
教材にかかわる情報	<テキスト> 改訂2版「これだけは知っておきたい わかる・書ける・使える保育の基本用語」 長島和代 編著 わかば社 <参考書・参考資料等> 「保育者になるための国語表現」 田上貞一郎 著 萌文書林 プリントや資料を適宜、配布する		
評価にかかわる情報	定期試験、出席状況、受講態度、レポート、提出物、小テストなどにより総合的に評価する		
実務経験のある教員による実践的授業	小学校教諭として、絵本を通した子どもの教育に長年取り組み、その実務経験をふまえた講義を行う		

神村学園専修学校こども学科 シラバス(2026)

授業科目	英語	単位数	演習2単位
担当教員	西原 薫		
教員略歴	国際文化学博士 鹿児島国際大学・短期大学部 観光英会話Ⅰ・Ⅱ(Ⅲ・Ⅳ)クラス(ボランティアアシスタント) 中国・欧米からの観光客向け市場調査中国語通訳 鹿児島純心女子短期大学非常勤講師 神村学園専修学校非常勤講師		
授業目標	今日では幼稚園や保育園に外国人の園児が入園してくることもあり、保育現場で英語を使う機会も増えている。本科目では、英語表現の基礎となる文法・構文の復習を行うとともに、保育の現場で必要な英語表現を運用できる力を身に付けることを目標とする。		
授業内容	1. 英語コミュニケーションの概要 2. 覚えておきたい挨拶フレーズ 3. 英語の基礎 (1) フォニックス 4. 英語の基礎 (2) 基本的な単語とフレーズ 5. 英語の基礎 (3) 数字と日付の表現 6. 英語の基礎 (4) 時間の表現 7. 英語の基礎 (5) 形容詞 8. 英語の基礎 (6) 日常的なコミュニケーション 9. 英語の基礎 (7) 基本的な文法 10. 英語の基礎 (8) 質問のしかた 11. 英語の基礎 (9) 簡単な会話 12. 英語の基礎 (10) 簡単な読解術 13. 英語の基礎 (11) 簡単な英作文 14. 英語の基礎 (12) リスニングのコツ 15. 英語の基礎 (13) 国ごとの文化や習慣、発音の特徴 16. 保育英語 (1) 基本表現 17. 保育英語 (2) 園内の案内 18. 保育英語 (3) 健康・けが・病気 19. 保育英語 (4) 登園時の会話 20. 保育英語 (5) 降園時の会話 21. 保育英語 (6) 行事について 22. 保育英語 (7) 室内遊び 23. 保育英語 (8) 室外遊び 24. 保育英語 (9) 食事とアレルギー 25. 保育英語 (10) 着替え・トイレ 26. 保育英語 (11) 運動・散歩 27. 保育英語 (12) 保護者からの相談 28. 保育英語 (13) お便り・連絡帳 29. 保育英語 (14) 保育英語まとめ 30. 総まとめ		
教材にかかわる情報	「英語コミュニケーション」豊岡短期大学配本テキスト Interchange (5/e) Intro StudentsBook with Digital Pack		
評価にかかわる情報	受講態度、課題提出の状況、レポート作成内容及び科目試験の点数を総合的に評価する		
実務経験のある教員による実践的授業			

授業科目	体育講義	単位数	講義2単位
担当教員	笠松 具晃		
教員略歴	東京学芸大学教育学部初等科教員養成課程保健体育専修卒業 センチュリー・リーシング・システム株式会社(現 東京センチュリー)新宿営業本部所属 平成4年より小学校教育に携わり、長崎県公立小学校教諭、東京学芸大学附属大泉小学校、 同大学附属小金井小学校、福岡市公立小学校教諭、佐賀県公立小学校教諭として勤務。 令和8年4月より神村学園専修学校こども学科 専任講師。 所有資格:小学校教諭一種免許、中学校教諭一種免許(保健体育)、高等学校教諭一種免許 (保健体育)		
授業目標	運動の身体に関する科学的な理解を深め、健康の維持増進に役立てると共に、現代社会における運 動の意義を個人並びに社会的な立場から理解し、生活をする上での保健と体育の重要性を認識す る。		
授業内容	1 オリエンテーション 2 現代社会における体育教育 3 現代社会と健康 4 運動の生理Ⅰ 5 運動の生理Ⅱ 6 運動の基礎理論 7 運動の応用理論 8 生活と運動Ⅰ 9 生活と運動Ⅱ 10 運動処方 11 健康な生活の設計 12 救急法 13 健康にかかわる運動①(レクリエーション) 14 健康にかかわる運動②(アダプテッドスポーツ) 15 自己の健康観とまとめ		
教材にかかわる 情報	「健康科学」豊岡短期大学テキスト		
評価にかかわる 情報	レポート課題において、専門知識の理解、獲得及び思考表現により判定し評価する。 科目試験において、成績評価を判定を行う。		
実務経験のある 教員による実践 的授業			

授業科目	体育実技	単位数	実技1単位
担当教員	笠松 具晃		
教員略歴	<p>東京学芸大学教育学部初等科教員養成課程保健体育専修卒業 センチュリー・リーシング・システム株式会社(現 東京センチュリー)新宿営業本部所属 平成4年より小学校教育に携わり、長崎県公立小学校教諭、東京学芸大学附属大泉小学校、 同大学附属小金井小学校、福岡市公立小学校教諭、佐賀県公立小学校教諭として勤務。 令和8年4月より神村学園専修学校こども学科 専任講師。 所有資格:小学校教諭一種免許、中学校教諭一種免許(保健体育)、高等学校教諭一種免許(保健体育)</p>		
授業目標	<p>各種の運動やレクリエーションの実践を通して、体を動かすことの意義や身体への影響、多様なレクリエーション活動について理解するとともに、体を動かすことを親しむ態度を養う。また、健康や安全に留意し、体力の向上を図り、運動の特性に応じた技能を身に付ける。</p>		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 健康づくり運動・ゲーム① 3. 健康づくり運動・ゲーム② 4. 健康づくり運動・ゲーム③ 5. レクリエーションの体験と実際① 6. レクリエーションの体験と実際② 7. レクリエーションの体験と実際③ 8. レクリエーションの体験と実際④ 9. さまざまなスポーツの体験① 10. さまざまなスポーツの体験② 11. さまざまなスポーツの体験③ 12. ニュースポーツの体験① 13. ニュースポーツの体験② 14. ニュースポーツの体験③ 15. 講義のまとめ 		
教材にかかわる情報	<p>「健康科学」豊岡短期大学テキスト その他、適宜配布資料を用いる</p>		
評価にかかわる情報	<p>レポート課題において、専門知識の理解、獲得及び思考表現により判定し評価する。 実技試験において、成績評価を判定を行う。</p>		
実務経験のある教員による実践的授業			

授業科目	社会福祉	単位数	講義2単位
担当教員	神田 諭志		
教員略歴	平成23年 3月 志學館大学 人間関係学部 心理臨床学科 卒業 平成25年～令和2年 学校法人神村学園高等部 保育科 教諭 令和2年～令和5年 学校法人都築教育学園第一幼児教育短期大学 講師 令和5年～ 神村学園専修学校こども学科 専任講師 免許・資格:保育士、高等学校教諭1種免許(公民)、社会福祉主事任用資格、おもちゃインストラクター		
授業目標	・福祉にかかわる問題が社会と関連していることを説明することができる ・社会福祉の制度や施策が自分の生活の身近な存在であると感じることができる ・保育士と社会福祉の関係を理解することができる		
授業内容	1. 授業ガイダンス／私たちを取りまく生活問題 2. 私たちを取りまく生活問題(DVD視聴) 3. 社会福祉の基本理念と歴史 4. 社会福祉のしくみ①(法律・行政・財政・機関) 5. 社会福祉のしくみ②(法律・行政・財政・機関) 6. 社会保障(年金保険・医療保険) 7. 低所得者福祉 8. 子どもと家庭福祉① 9. 子どもと家庭福祉② 10. 高齢者福祉 11. 介護保険 12. 障害者福祉 13. 地域福祉 14. 利用者保護制度 15. 社会福祉援助技術		
教材にかかわる情報	新・プリマーズ保育「社会福祉(第5版)」ミネルヴァ書房		
評価にかかわる情報	授業態度・出席率(小テスト)(30%)／試験(70%)で総合的評価をします		
実務経験のある教員による実践的授業			

授業科目	こども家庭支援論	単位数	講義2単位
担当教員	中村誠文		
教員略歴	鹿児島純心大学人間教育学部教育・心理学科 / 大学院人間科学研究科心理臨床学専 臨床心理士・公認心理師 専門分野: 臨床心理学・家族心理学		
授業目標	子育て家庭における支援の意義と目的を理解し、多様な家庭のニーズに応じた支援の実 施、子育て家庭に対する理解とその支援方法等について学んでいく。 1. 子育て家庭における支援の意義と目的を理解し説明することができる。 2. 子育て家庭の置かれている現状を理解することができる。 3. 子育て家庭における諸問題に対して、それぞれの子育て家庭への理解と支援のあり方 について自分なりに考えることができる。		
授業内容	1. こども家庭支援の意義 2. こどもを取り巻く社会環境について 3. カウンセリングマインドについて 4. 現場で役に立つカウンセリング技法 5. こどもの発達 6. こども理解について 7. 家族・親子関係とは 8. 家族と親の発達 9. 家族と親理解について 10. 保護者への支援 11. 子ども家庭支援の実際①(児童虐待) 12. 子ども家庭支援の実際②(障害のある子ども) 13. 子ども家庭支援の実際③(生活困窮・貧困) 14. 園・地域における専門家との連携による相談・支援 15. 見立てと支援の実際		
教材にかかわる情報	「こどもの理解と相談支援」豊岡短期大学テキスト		
評価にかかわる情報			
実務経験のある教員による実践的授業	保育所やこども園での相談員、精神科クリニックやスクールカウンセラーなどの経験を生かした実践的視点をふんだんに取り入れた授業を行う		

授業科目	こども家庭福祉	単位数	講義2単位
担当教員	神田 諭志		
教員略歴	平成23年 3月 志學館大学 人間関係学部 心理臨床学科 卒業 平成25年～令和2年 学校法人神村学園高等部 保育科 教諭 令和2年～令和5年 学校法人都築教育学園第一幼児教育短期大学 講師 令和5年～ 神村学園専修学校こども学科 専任講師 免許・資格:保育士、高等学校教諭1種免許(公民)、社会福祉主事任用資格、おもちゃインストラクター		
授業目標	現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する 制度や関係機関の実施体制について学びを深める 子どもの人権に目を向けながら子どもの家庭福祉の現状と課題についての考察を深める		
授業内容	1. 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷 2. 現代社会とこどもの家庭福祉 3. 子どもの権利 4. 子どもの人権擁護と現代社会における課題 5. 子ども家庭福祉制度と法体系および実施体系 6. 児童福祉施設と子どもの家庭福祉の専門職・実施者 7. 少子化と地域子育て支援 8. 母子保健と子どもの健全育成 9. 多様な保育へのニーズ 10. 子どもの虐待・DVとその防止 11. 社会的養護 12. 障害のある子どもへの対応 13. 少年非行など対応 14. 貧困家庭、ひとり親家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応 15. 子ども家庭福祉の動向と展望		
教材にかかわる情報	「みらい×子どもの福祉ボックス 子ども家庭福祉」みらい		
評価にかかわる情報	授業態度(20%)／ミニテスト(20%)／試験(50%)で総合的評価をします		
実務経験のある教員による実践的授業			

授業科目	社会的養護Ⅰ	単位数	講義2単位
担当教員	神田 諭志		
教員略歴	平成23年 3月 志學館大学 人間関係学部 心理臨床学科 卒業 平成25年～令和2年 学校法人神村学園高等部 保育科 教諭 令和2年～令和5年 学校法人都築教育学園第一幼児教育短期大学 講師 令和5年～ 神村学園専修学校こども学科 専任講師 免許・資格:保育士、高等学校教諭1種免許(公民)、社会福祉主事任用資格、おもちゃインストラクター		
授業目標	現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷について理解する 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する 社会的養護の制度や実施体系などについて理解する 社会的養護の対象や形態、関係する専門職などについて理解する 社会的養護の現状と課題について理解する		
授業内容	1. 社会的養護の理念と概念 2. 社会的養護の歴史的変遷 3. 子どもの人権擁護と社会的養護 4. 社会的養護の基本原則 5. 社会的養護における保育士などの倫理と責任 6. 社会的養護の制度と法体系 7. 社会的養護の仕組みと実施体系 8. 社会的養護の対象 9. 家庭擁護と施設擁護 10. 社会的養護にかかわる専門職 11. 社会的養護にかかわる社会的状況 12. 施設などの運営管理 13. 被措置児童などの虐待防止 14. 社会的養護と地域福祉 15. 保育現場における社会的養護の現状と課題		
教材にかかわる情報	「社会的養護Ⅰ」豊岡短期大学配本テキスト / 「保育と社会的養護Ⅰ」みらい		
評価にかかわる情報	授業態度・出席率(小テスト)(30%) / 試験(70%)で総合的評価をします		
実務経験のある教員による実践的授業			

授業科目	教育原理	単位数	講義2単位
担当教員	福島 豪		
教員略歴	明治大学文学部文学科フランス文学専攻卒業 早稲田大学大学院教育学研究科学校教育専攻修士課程修了（教育学） 函館大谷短期大学こども学科講師を経て、現在、鹿児島国際大学福祉社会学部児童学科准教授		
授業目標	教育の思想とその作用、また我が国の教育制度・理念・歴史について学ぶことにより、教育の課題と可能性についての理解を深めること及び学校教育に関する社会的、制度的事項を理解し、地域との連携並びに学校安全に関する理解を深めることを目標とする。		
授業内容	1 教育、教育原理の意義・目的・特性と、こども家庭福祉等との関連性 2 世界の教育思想①ソクラテス〜ヘルソーの思想・実践 3 世界の教育思想②ヘルバルト〜デューイの思想・実践 4 日本の教育思想 5 子どもの発達と教育 6 子どもの権利 7 制度から見る保育所、幼稚園、認定こども園 8 内容から見る保育所、幼稚園、認定こども園 9 世界における教育の歴史の変遷 10 日本における教育の歴史の変遷 11 公教育制度、義務教育制度 12 教師という仕事、教授法 13 教育における今日的課題①学習指導要領の改訂に伴う幼児教育の変化 14 教育における今日的課題②危機・安全管理カリキュラム、アクティブラーニング 15 教育における今日的課題③学校外との連携		
教材にかかわる情報	「教育原理」(配本テキスト) 「幼稚園教育要領解説」(フレーベル館)、「保育所保育指針解説」(フレーベル館)、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(フレーベル館)		
評価にかかわる情報	授業態度(20%)／ミニテスト(20%)／試験(50%)で総合的評価をします		
実務経験のある教員による実践的授業			

授業科目	発達心理学	単位数	講義2単位
担当教員	石井 洋平		
教員略歴	川崎医療福祉大学～久留米大学大学院心理学研究科(博士前期)～久留米大学大学院医学研究科(博士後期) 宮の陣病院心理療法士や中学校でのスクールカウンセラーなどを務め、久留米大学高次脳疾患研究所勤務 麻生リハビリテーション大学校非常勤講師「精神医学」、現在鹿児島純心大学准教授		
授業目標	発達と教育との関係について整理し、発達の原則等について概観したのち、児童期から青年期までの発達段階における発達の特徴について学ぶ。また、学習、学習を支える意欲や記憶の仕組み、学習を支える人間関係等の基礎に関する心理学的知識について学び、その応用方法について考える。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達心理学とは何か 2. 発達を規定するもの 3. 発達に関する様々な理論 4. 出生前後の発達 5. 乳児期の発達 6. アタッチメント(愛着)の発達 7. 社会性の発達 8. 感情と自己の発達 9. 遊びと対人関係の発達 10. 言葉と思考をめぐる発達 11. 思春期・青年期 12. 成人期 13. 老年期 14. 定型発達と非定型発達 15. まとめ 		
教材にかかわる情報	「発達心理学」豊岡短期大学配本テキスト 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」		
評価にかかわる情報	学習状況:レポート課題において専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価		
実務経験のある教員による実践的授業	臨床心理士として、病院等の現場で心理相談業務に携わってきた実務経験をふまえて講義を行う		

授業科目	教育心理学	単位数	演習1単位
担当教員	石井 洋平		
教員略歴	川崎医療福祉大学～久留米大学大学院心理学研究科(博士前期)～久留米大学大学院医学研究科(博士後期) 宮の陣病院心理療法士や中学校でのスクールカウンセラーなどを務め、久留米大学高次脳疾患研究所勤務 麻生リハビリテーション大学校非常勤講師「精神医学」、現在鹿児島純心大学准教授		
授業目標	人の発達を扱う心理学は、今や出生前から高齢になり死に至るまでの人生のすべての時期を対象とした生涯発達心理学の考え方が主流となっている。本講義では、生涯発達心理学の考え方をベースに各発達段階における心理・社会的課題にはどのようなものがあり、どのように援助できるのかについて考えることができるようになることをねらいとする。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育心理学とは何か 2. こどもの発達 3. 精神発達をどうとらえるか 4. 学習 5. 記憶 6. 思考の過程 7. 学ぶ意欲－動機づけ 8. どのように教えるか 9. 評価する－教育評価 10. パーソナリティ 11. 認知の個人差と教育 12. 自閉スペクトラム症 13. 注意欠陥／多動症 14. 限局性学習症 15. まとめ 		
教材にかかわる情報	「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」		
評価にかかわる情報	学習状況:レポート課題において専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価		
実務経験のある教員による実践的授業	臨床心理士として、病院等の現場で心理相談業務に携わってきた実務経験をふまえて講義を行う		

授業科目	こどもの健康と安全	単位数	演習1単位
担当教員	牟田 京子		
教員略歴	<p>学歴: 鹿児島大学大学院修士課程(教育学)、筑波大学大学院博士後期課程単位取得満期退学 看護職歴: 看護師として病院及び企業(臨床薬理研究所)にて勤務。 保育・児童関連の職歴: 放課後等デイサービスの幼児・児童療育アドバイザー及びスクールカウンセラー 教育歴: 高校(衛生看護科)及び看護系大学(小児看護領域)にて教鞭を取る。 国家資格: 看護師、保育士、公認心理師、第2種衛生管理者、キャリアコンサルタント 資格: 医療的ケア教員講習会修了、PECS® Level修了、ペアレントトレーニングトレーナー研修修了</p>		
授業目標	<p>子どもの身体的発育・発達段階を理解し、保育実践に活かす 子どもを取り巻く環境を理解し、他者との連携を取りながら保育を行うことができる</p>		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 子どもの健康と保健の意義 2. 子どもの発育と発達 3. 臓器・生理機能の発達 4. 健康状態の把握 5. 子どもの病気(呼吸器・消化器) 6. 子どもの病気(泌尿器・アレルギー疾患) 7. 子どもの病気(眼科・耳鼻科・皮膚科) 8. 感染症(ウイルス・細菌) 9. 予防接種と新生児マスキリーニング検査 10. 保育現場で起こりやすい事故 11. 体調不良への対応と応急処置 12. 感染症の予防と対策 13. アレルギー疾患をもつ子どもへの対応 14. 子どもの健康づくりへの取り組み 15. 単位習得試験 		
教材にかかわる情報	<p>「子どもの健康と安全演習ノート 改定第3版」(診断と治療社) その他必要な資料は、講義の中で提示する。</p>		
評価にかかわる情報	<p>学習状況: 各回ごとのリアクションペーパー及び演習課題において専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価する。</p>		
実務経験のある教員による実践的授業	<p>看護師として実務経験のある教員による授業で、その実務経験を生かして子どもの健康的な成長発達の観察・指導や健康上の問題やその他課題を明確にし、その解決に向けて根拠ある支援を指導する。</p>		

授業科目	こどもの健康と安全	単位数	演習1単位
担当教員	牟田 京子		
教員略歴	<p>学歴：鹿児島大学大学院修士課程(教育学)、筑波大学大学院博士後期課程単位取得満期退学 看護職歴：看護師として病院及び企業(臨床薬理研究所)にて勤務。 保育・児童関連の職歴：放課後等デイサービスの幼児・児童療育アドバイザー及びスクールカウンセラー 教育歴：高校(衛生看護科)及び看護系大学(小児看護領域)にて教鞭を取る。 国家資格：看護師、保育士、公認心理師、第2種衛生管理者、キャリアコンサルタント 資格：医療的ケア教員講習会修了、PECS® Level修了、ペアレントトレーニングトレーナー研修修了</p>		
授業目標	<p>本科目は、保育者として集団保育における子どもの健康や安全を守りながら保育するための支援の方法について学び、状況に応じた対応や予防法を理解し、それらを実践する力を講義・演習を通して身につけられるよう展開する。</p>		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 子どもの健康と保育環境 2. 子どもの健康状態の把握(バイタルサイン) 3. 発熱時の対応(経口補水液・投薬) 4. 衛生管理 講義・演習(嘔吐物処理) 5. 衛生管理 講義・演習(手指衛生) 6. 応急処置 講義・演習(包帯法・止血法) 7. 応急処置 講義・演習(小児の心肺蘇生) 8. 保育現場での安全対策について:子どもの視野 9. 保育現場での安全対策について:演習 10. 子どもへの健康教育とは 11. 子どもへの健康教育演習(1) 12. 子どもへの健康教育演習(2) 13. 子どもへの健康教育演習(3) 14. 子どもへの健康教育演習(4) 15. 子どもへの健康教育発表 		
教材にかかわる情報	<p>「子どもの健康と安全演習ノート 改定第3版」(診断と治療社) その他必要な資料は、講義の中で提示する。</p>		
評価にかかわる情報	<p>学習状況：各回ごとのリアクションペーパー及び演習課題において専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価する。</p>		
実務経験のある教員による実践的授業	<p>看護師として実務経験のある教員による授業で、その実務経験を生かして子どもの健康的な成長発達の観察・指導や健康上の問題やその他課題を明確にし、その解決に向けて根拠ある支援を指導する。</p>		

神村学園専修学校こども学科 シラバス(2026)

授業科目	子どもの食と栄養	単位数	演習2単位
担当教員	西村和子		
教員略歴	管理栄養士 病院管理栄養士を経て、各方面で食の講義を行う		
授業目標	子育ての専門職として、乳幼児の発育段階に合わせた栄養や食生活にかかわる必要な知識を取得し子育て、子育ての支援、指導ができる人間性を身につける又、健全な生活を送るためにどのような食生活をしていかなければならないかを学ぶ。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 現代における日本人の食生活の課題 3. 栄養とは、五大栄養素について 4. 糖質の体内ではたらきと種類 ① 5. 糖質の体内ではたらきと種類 ② 6. たんぱく質の体内ではたらきと種類 ① 7. たんぱく質の体内ではたらきと種類 ② 8. 脂質の体内ではたらきと種類 ① 9. 脂質の体内ではたらきと種類 ② 10. ミネラルの体内ではたらき 11. ビタミンの体内ではたらき 12. 献立を立てる方法 13. 栄養価の計算 14. 調理を行うために必要な事 15. 子どもが作るお弁当の日について 16. 食中毒の菌の種類、予防について 17. 妊娠期の栄養・生活について 18. 妊娠期の栄養・生活について大事なこと 19. 母乳栄養と人工栄養 20. 母乳栄養と人工栄養 21. 離乳食の開始時期から完了期までの段階 22. 離乳食の開始時期から完了期までの段階 23. 幼児の食生活 24. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養 25. 保育園・認定こども園・幼稚園の食事について 26. 食物アレルギーのある子どもへの対応 27. 食育について 28. 子どもの食と栄養のふりかえり 29. 子どもの食と栄養のまとめ② 30. 終講試験 		
教材にかかわる情報	「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館		
評価にかかわる情報	レポート提出、科目試験の結果により評価する。		
実務経験のある教員による実践的授業	管理栄養士として病院の栄養管理業務に携わってきた豊富な実務経験をふまえて講義を行う		

神村学園専修学校こども学科 シラバス(2026)

授業科目	こどもの発達と家庭支援	単位数	講義2単位
担当教員	坂上 久恵		
教員略歴	<p>鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科心理臨床学専攻 修了</p> <p>鹿児島市内の保育所・幼稚園への巡回相談、児童発達支援事業所において発達検査の実施や相談業務、いちき串木野市スクールカウンセラー、鹿児島県スクールカウンセラー</p> <p>免許・資格:臨床心理士、公認心理師、幼稚園教諭一種免許、小学校教諭一種免許、養護学校教諭一種免許、保育士</p>		
授業目標	<p>生涯発達における各発達段階の特徴と課題について理解し、それをふまえて子どもの生活・生育環境や心の健康、子育て家庭を取り巻く社会状況について学ぶ。また、家族・家庭の意義や機能、親子関係や家族関係等について理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を身につける。</p>		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳児期の発達の特徴と課題 2. 幼児期前期の発達の特徴と課題 3. 幼児期後期の発達の特徴と課題 4. 児童期の発達の特徴と課題 5. 青年期の発達の特徴と課題 6. 成人期・老年期の発達の特徴と課題 7. 子どもの生活・生育環境とその影響 8. 子どもの心の健康にかかわる問題 9. 子育てを取り巻く社会的状況 10. ライフコースと仕事・子育て 11. 多様な家庭とその理解 12. 特別な配慮を必要とする家庭 13. 家族・家庭の意義と機能 14. 親子関係・家族関係の理解 15. 子育ての経験と親としての育ち 		
教材にかかわる情報	<p>「事例で楽しく学ぶ子ども家庭支援の心理学」中央法規</p> <p>「こどもの発達と家庭支援」豊岡短期大学配本テキスト</p>		
評価にかかわる情報	<p>講義内課題、科目試験により評価します</p>		
実務経験のある教員による実践的授業	<p>巡回相談や児童発達支援事業所、スクールカウンセリングにおいて相談業務に携わってきた経験をふまえ講義を行う</p>		

授業科目	保育内容総論	単位数	演習1単位
担当教員	前原寛		
教員略歴	<p>筑波大学文芸・言語研究科一般応用言語学専攻博士課程満期退学 文学修士(言語学)</p> <p>鹿児島女子短期大学、第一幼児教育短期大学、鹿児島国際大学非常勤講師を経て、平成30年度より神村学園専修学校こども学科非常勤講師</p> <p>実務経験:社会福祉法人至宝福祉会安良保育園副園長(昭和60年4月～昭和62年5月)、同園園長(昭和62年5月～平成18年3月)、現在同法人理事長</p>		
授業目標	<p>保育内容は、子どもの最善の利益を実現するための根本となるものである。幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針に示された保育内容を学ぶとともに、指導計画作成と実践の展開及び評価の重要性を理解し、保育者として必要な資質を身に付ける。</p>		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の全体構造 2. 子どもの主体性 3. 保育内容の歴史的変遷(明治から第二次世界大戦まで) 4. 保育内容の歴史的変遷(第二次世界大戦から平成まで) 5. 育みたい資質・能力 6. 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 7. ねらい及び内容 8. カリキュラム・マネジメント、PDCAサイクル 9. 全体的な計画、指導計画の作成 10. 記録及び評価 11. 環境を通して行う保育 12. 特別な支援を必要とする保育 13. 小学校との接続 14. 家庭との連携 15. 保育者相互の協働 		
教材にかかわる情報	「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		
評価にかかわる情報	学習状況、課題における専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価		
実務経験のある教員による実践的授業	保育園園長として長年保育に携わり、豊富な実務経験をふまえて講義を行う		

神村学園専修学校こども学科 シラバス(2026)

授業科目	保育内容演習(健康)	単位数	演習1単位
担当教員	川畑和也 笠松具晃		
教員略歴	<p>川畑: 鹿児島大学大学院教育学研究科総合教育実践専攻生活・健康系学修コース修了 修士(教育学) 高等学校地理歴史一種免許、日本キャンプ協会キャンプディレクター1級、日本レクリエーション協会レクリエーション・インストラクター、日本シェアリングネイチャー協会ネイチャーゲームリーダー、日本バスケットボール協会公認コーチ・審判、日本防災士機構防災士、一般社団法人全国保育士養成協議会 認定実習指導者 現在、鹿児島大学総合科学域総合教育学系 総合教育機構 共通教育センター 体育・健康教育部門 助教。</p> <p>笠松: 東京学芸大学教育学部初等科教員養成課程保健体育専修卒業 センチュリー・リーシング・システム株式会社(現 東京センチュリー)新宿営業本部所属 平成4年より小学校教育に携わり、長崎県公立小学校教諭、東京学芸大学附属大泉小学校、同大学附属小金井小学校、福岡市公立小学校教諭、佐賀県公立小学校教諭として勤務。 令和8年4月より神村学園専修学校こども学科 専任講師。 所有資格: 小学校教諭一種免許、中学校教諭一種免許(保健体育)、高等学校教諭一種免許(保健体育)</p>		
授業目標	<p>乳幼児期は、生涯を見据え健康な心身の基礎を作る重要な時期である。こどもの健康を守り育てるためには、実際の保育現場でこどもの発育発達をいかに捉え、いかなる内容についていかにしどうし支援することが効果的かを理解する必要がある。本授業では、こどもの個々の健康状態を評価する能力を多領域から養うことを目的とする。</p>		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育における「健康」、領域「健康」のねらいおよび内容の理解 2. 乳幼児の心身の発育発達、基本的生活習慣 3. 乳幼児期の安全教育と危険、健康管理と安全能力を育む援助 4. 幼児期の怪我や事故の特徴と予防 5. 乳幼児期の運動発達の特徴と援助 6. 乳幼児期の運動発達と運動遊びのプログラム作成① 7. 乳幼児期の運動発達と運動遊びのプログラム作成② 8. 健康な心と体を育む保育の構想 9. 安全管理と安全教育、交通安全指導、避難訓練①(調べる) 10. 安全管理と安全教育、交通安全指導、避難訓練②(計画を立てる) 11. 安全管理と安全教育 公園や散歩などを通して安全を考えてみよう① 12. 安全管理と安全教育 公園や散歩などを通して安全を考えてみよう② 13. 安全管理と安全教育 まとめ 14. 安全管理と安全教育 発表 ① 15. 安全管理や安全教育 発表 ② 		
教材にかかわる情報	「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」		
評価にかかわる情報	学習状況: レポート課題において専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価		
実務経験のある教員による実践的授業			

授業科目	保育内容演習(人間関係)	単位数	演習1単位
担当教員	前原寛		
教員略歴	<p>筑波大学文芸・言語研究科一般応用言語学専攻博士課程満期退学 文学修士(言語学)</p> <p>鹿児島女子短期大学、第一幼児教育短期大学、鹿児島国際大学非常勤講師を経て、平成30年度より神村学園専修学校こども学科非常勤講師</p> <p>実務経験:社会福祉法人至宝福祉会安良保育園副園長(昭和60年4月～昭和62年5月)、同園園長(昭和62年5月～平成18年3月)、現在同法人理事長</p>		
授業目標	<p>子どもは人間関係の網の目の中で育っていくことを、身近な大人との関係、子ども同士の関係という二つの軸を中心に考察する。そのために、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針に示された基本原則を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を学ぶとともに、子どもの発達の過程を理解し、具体的な保育実践の事例を通しつつ保育者として必要な実践能力を身に付ける。</p>		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の基本 2. 保育内容の構造 3. 内外未分化について 4. 人に向かう気持ちの表れ 5. なかよしになるということ 6. 人間関係の内在化について 7. ギャンググループ 8. 園生活における人間関係について 9. 「子どもが好き」ということを考える 10. 領域「人間関係」を踏まえた指導計画の理解と作成 11. PDCAサイクルを意識したカリキュラム・マネジメントについて 12. 人とのかかわりを促す環境 13. 現代社会における人間関係の課題 14. 「望ましい人間関係」という落とし穴 15. 人とのかかわりを育てるということ 		
教材にかかわる情報	「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		
評価にかかわる情報	学習状況、課題における専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価		
実務経験のある教員による実践的授業	保育園園長として長年保育に携わり、豊富な実務経験をふまえ講義を行う		

神村学園専修学校こども学科 シラバス(2026)

授業科目	保育内容演習(環境)	単位数	演習1単位
担当教員	中村 麻理子		
教員略歴	鹿児島大学水産学部水産学科卒業 鹿児島大学大学院水産学研究科修了 下関市立しものせき水族館魚類展示課嘱託職員、財団法人九州環境管理協会陸生生物調査室・水環境調査課職員、鹿児島大学総合研究博物館維持職員等を経て、現在、第一幼児教育短期大学非常勤講師		
授業目標	保育内容「環境」のねらい及び内容について理解を深めるとともに、乳幼児の発達に即して、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法に身に付ける。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境という言葉の定義 2. 環境を通して行う保育の意味 3. 領域「環境」のねらいと内容 4. 領域「環境」の指導上の注意点と指導計画 5. 幼児が自然とのかかわりを深める意義について 6. 季節の変化とこどもの活動(春・夏) 季節の変化と園行事について 7. 季節の変化とこどもの活動(秋・冬) 季節の変化と園行事について 8. こどもの身近な植物 こどもと花・花壇と野菜園・植物の栽培と環境の整備 9. こどもの身近な動物 こどもと動物・動物の飼育と飼育環境の整備 10. 創造と工夫の遊び(科学遊び) ねらいや内容、指導上の留意点について 11. 保育における環境の重要性と保育者の役割 12. 身近な素材や自然物を用いた保育の実際 指導計画立案、実践の振り返りと改善 13. 標識・文字の出会い 14. 数量と図形・ものの性質との出会い 15. 小学校との連携理解 		
教材にかかわる情報	「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		
評価にかかわる情報	学習状況、課題における専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価		
実務経験のある教員による実践的授業	環境教育現場にも携わり、豊富な実務経験をふまえ講義を行う		

授業科目	保育内容演習(言葉)	単位数	演習1単位
担当教員	船津 啓治		
教員略歴	鳴門教育大学大学院 学校教育研究科教科・領域教育専攻 言語系コース(国語)修了 長年、鹿児島県内(奄美市、薩摩川内市、霧島市、姶良市、屋久島町、曾於市)の小学校勤務現 在、神村学園専修学校こども学科専任講師 免許・資格:幼稚園教諭、小学校教諭専修、中学校教諭(国語)、司書教諭		
授業目標	1 乳幼児期の言葉の発達過程を理解することを目的とする。 2 言葉を用いて思考し、人と話そうとする意欲、他人の話聞く姿勢・態度、小学生の生活に必要な自己表現ができる「言葉」の獲得などについて理解することを目的とする。 3 言葉遊び、絵本の読み聞かせ、素話体験などの活動を通して、言葉に対する感覚、言葉の持つ美しさ、楽しさを認識し、理解することを目的とする。		
授業内容	1. 幼児教育と言葉 2. 言葉とは何か・領域「言葉」の位置付け 3. 保育者の声と心を届けるということ 4. 乳幼児期の言葉の発達過程と保育者としての評価 5. 絵本の指導法 6. 絵本、お話などの実践による模擬保育 7. 日本の民話の教材分析 8. 外国の民話の教材分析 9. 語りの実践 10. 素話の概要と実践準備 11. 素話の実践 12. 言葉遊び 13. 絵本の指導法 14. 絵本、お話などの実践による模擬保育 15. 言葉の年間授業計画と幼稚園、保育園、認定こども園と小学校との連携		
教材にかかわる情報	〈テキスト〉『保育をゆたかに絵本でコミュニケーション』かもがわ出版		
評価にかかわる情報	実践の取り組み:25% 講義内提出物:25% 試験:50%		
実務経験のある教員による実践的授業	小学校教諭として、絵本を通した子どもの教育に長年取り組み、その実務経験をふまえた講義を行う		

授業科目	保育内容演習(表現)	単位数	演習1単位
担当教員	桶田 洋明		
教員略歴	平成2年3月 筑波大学芸術専門学群 卒業 平成4年3月 筑波大学大学院修士課程 芸術研究科 修了 修士(芸術学) 平成4年4月～平成12年9月 長野県立軽井沢高等学校 教諭(美術) 平成12年10月～ 鹿児島大学教育学部 専任講師(平成13年4月～助教授、平成19年4月～准教授、平成27年4月～教授)		
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児造形教育の指導、援助者として形や色等の造形の基礎的な知識及び技能について理解ができる。 ・えがく領域、つくる領域、造形あそびの領域の造形表現を通して、基礎的な知識及び技能について習得できる。 ・教材研究及び発表を行うことで思考力や表現力を高めることができる。 		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児造形教育の重要性と研究の視点について 2. 幼児造形(表現)の特徴、多視点描法 3. えがく領域に伴う造形表現① 4. えがく領域に伴う造形表現② 5. えがく領域に伴う造形表現③ 6. つくる領域に伴う造形表現① 7. つくる領域に伴う造形表現② 8. つくる領域に伴う造形表現③ 9. 造形遊びの領域に伴う造形表現① 10. 造形遊びの領域に伴う造形表現② 11. 造形遊びの領域に伴う造形表現③ 12. 教材研究及び発表① 13. 教材研究及び発表② 14. 幼児造形教育の課題について 15. まとめ、試験 		
教材にかかわる情報	「造形表現論」豊岡短期大学通信教育部配本テキスト、「子どもの造形表現」教育情報出版 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版)(フレーベル館)		
評価にかかわる情報	授業態度・課題提出・終講試験を基に総合的に評価します。		
実務経験のある教員による実践的授業			

授業科目	乳児保育Ⅰ	単位数	講義2単位
担当教員	泊明希佳		
教員略歴	鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科(博士前期課程修了) 鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科(博士後期課程所属) 平成29年度末まで、鹿児島県内保育所にて保育士として勤務後、平成30年度より本学こども学科専任講師として就任。免許・資格:保育士、幼稚園教諭、司書		
授業目標	乳幼児保育の歩みと現状、乳幼児の発達上の特徴など、基本的な知識について学び、その意義や必要性を理解できるようにする。人としての基礎を培う大切な乳幼児期に関わる保育者の役割を理解し、適切な保育の計画や方法、保護者への支援の習得を目指す。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児保育の意義・概念と歴史の変遷 2. 乳幼児保育の一般化への経緯 3. 乳幼児保育及び子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題 4. 保育所における乳幼児保育 5. 保育所以外の児童福祉施設(乳児院等)における乳幼児保育 6. 家庭的保育等における乳幼児保育 7. 3歳未満時の生活と環境 8. 3歳未満児の遊びと環境 9. 3歳以上児の保育に移行する時期の保育 10. 3歳未満時の発育・発達を踏まえた保育士等による援助や関わり 11. 3歳未満時の発育・発達を踏まえた保育における配慮 12. 乳幼児保育における計画・記録・評価とその意義 13. 職員間の連携・協働 14. 保護者との連携・協働 15. 乳幼児保育と子育て支援 		
教材にかかわる情報	見る・考える・創りだす 養成校と保育室をつなぐ理論と実践 乳児保育Ⅰ・Ⅱ(株式会社萌文書林) 保育所保育指針(フレーベル館)		
評価にかかわる情報	レポート課題における専門知識の理解、獲得及び思考表現により判定し評価する 科目試験の結果により判定し評価する		
実務経験のある教員による実践的授業	保育所保育士としての実務経験をふまえ、実践で得られた事例も講義を行う		

授業科目	乳児保育Ⅱ	単位数	演習1単位
担当教員	神田 諭志		
教員略歴	平成23年 3月 志學館大学 人間関係学部 心理臨床学科 卒業 平成25年～令和2年 学校法人神村学園高等部 保育科 教諭 令和2年～令和5年 学校法人都築教育学園第一幼児教育短期大学 講師 令和5年～ 神村学園専修学校こども学科 専任講師 免許・資格:保育士、高等学校教諭1種免許(公民)、社会福祉主事任用資格、おもちゃインストラクター		
授業目標	乳児保育Ⅰを基に、乳児の発達過程の理解を深める。発達過程と関係する体験と遊びを通し、生活の援助を知る。また、実践例を通して実際の援助を学び、保育者として必要な知識技能を習得することを目的とする。		
授業内容	1. 乳児の理解1期～3期 2. 乳児の理解4期～6期 3. 乳児の理解7期～9期 4. 実践例にみる援助の実際(安心・安定)① 5. 実践例にみる援助の実際(安心・安定)② 6. 実践例にみる援助の実際(保護者との連携・守秘義務) 7. 実践例にみる援助の実際(保健・安全)① 8. 実践例にみる援助の実際(保健・安全)② 9. 実践例にみる援助の実際(食事)① 10. 実践例にみる援助の実際(食事)② 11. 実践例にみる援助の実際(排泄) 12. 実践例にみる援助の実際(睡眠・環境整備) 13. 実践例にみる援助の実際(清潔) 14. 実践例にみる援助の実際(着脱・環境整備) 15. まとめ		
教材にかかわる情報	見る・考える・創りだす 養成校と保育室をつなぐ理論と実践 乳児保育Ⅰ・Ⅱ(株式会社萌文書林) 保育所保育指針(フレーベル館)		
評価にかかわる情報	授業態度・出席率(小テスト)(30%) / 試験(70%)で総合的評価をします		
実務経験のある教員による実践的授業			

神村学園専修学校こども学科 シラバス(2026)

授業科目	障害児保育	単位数	演習2単位
担当教員	川崎 愛子		
教員略歴	立命館大学法学部卒業後、一般業種での社会人経験を経て鹿児島国際大学福祉社会学部社会福祉学科へ社会人編入し、社会福祉士の資格を取得。その後、高齢者施設や医療機関での相談員として勤務しながら、鹿児島国際大学大学院博士課程前期にて発達障がい児の親支援の研究を行う。現在は鹿児島国際大学大学院博士後期課程において、子どもが有する権利と責任についての研究を行う。 保有資格:社会福祉士		
授業目標	「障がい児保育」の概要を学び、インクルーシブ保育のイメージを持つ。 ①「障がい」の概念、「障がい児」を取り巻く環境について理解する。 ②子どもの個々の特性、心身の発達段階に応じた支援、配慮について理解する。 ③子どもの個々の家庭に応じた支援や、関係機関との連携について理解する。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業計画（オリエンテーション） 2. 障がいの概念－障がいを巡る二つのモデル－ 3. 発達と障がい－発達特性と障がい－ 4. 障がい児保育のあゆみ－インクルージョン保育と合理的配慮－ 5. 肢体不自由児・医療的ケア児の理解と援助 6. 視覚・聴覚障がい児の理解と援助 7. 知的障がい児の理解と援助 8. 発達障がい児の理解と支援－発達障がいとは－ 9. 発達障がい児の理解と支援①自閉スペクトラム症 10. 発達障がい児の理解と支援②ADHD・LD 11. 配慮を必要とする子どもの理解と支援－愛着障がい等－ 12. 障がい児保育の方法と形態 13. 保育における指導計画 14. 個別の教育支援計画 15. ワーク：障がいのある子どもの支援の実際を知る 16. ワーク：個別の教育支援計画を作成する 17. 障がい児保育の記録と評価 18. 基本的な生活習慣獲得の援助 19. 社会性・協調性を育てる 20. 集団生活と遊びの援助－集団生活と子ども同士の関わり合い－ 21. 保育における遊びの援助 22. 保護者や家族への支援 23. 小学校・特別支援学校との連携 24. 障がいのある子どもの保健・医療・福祉施策 25. 地域の社会資源との連携 26. アセスメント－当事者のニーズを把握する一つの方法－ 27. ロールプレイ－準備－ 28. ロールプレイ－本番①－ 29. ロールプレイ－本番②－ 30. まとめ 		
教材にかかわる情報	演習・保育と障害のある子ども第2版(編集:野田敦史・林恵 株式会社みらい)		
評価にかかわる情報	講義終了後、試験日を設け科目試験を行う。		
実務経験のある教員による実践的授業	現在までの研究内容や社会福祉士としての経験を活かした講義を行う。		

授業科目	子育て支援	単位数	演習1単位
担当教員	賞雅 さや子		
教員略歴	保育士、保育園長を経験後、保育者養成校(短大、大学)の教員となる。		
授業目標	保育士の職務の一つとして、保護者からの相談に応じたり助言したりして保護者の子育てを支援することが児童福祉法に定められている。本授業では、保育所保育指針や幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された、保育所等において保育者が子育て支援を行うことに関する事項を実践するための知識や技術について具体的に学ぶ。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子育て支援とは 2. 子育て支援の意義 3. 子育て支援の基本的価値・倫理 4. 子育て支援の基本姿勢 5. 子育て支援の基本的技術 6. 園内・園外との連携と社会資源 7. 記録・評価・研修 8. 日常会話を活用した子育て支援 9. 文書を活用した子育て支援 10. 行事などを活用した子育て支援 11. 環境を活用した子育て支援 12. 地域子育て支援拠点における支援 13. 入所施設における子育て支援 14. 通所施設における子育て支援 15. まとめと今後の課題 		
教材にかかわる情報	教科書(二宮祐子著『子育て支援－15のストーリーで学ぶワークブック』萌文書林、2025)を使用する。		
評価にかかわる情報	毎回のワークシート課題(80%)、演習(20%)で評価を行う。出席、課題等の提出期限の取り扱いは厳格に行う。		
実務経験のある教員による実践的授業	保育士、保育園長の実務経験を生かした授業を行う。		

授業科目	音楽表現論Ⅱ	単位数	演習1単位
担当教員	柏木 祐香		
教員略歴	<p>広島大学教育学部を卒業後、音楽教育学を専攻し、鹿児島大学大学院教育実践総合専攻を修了(教育学修士)。中学校・高等学校教諭専修免許状(音楽)取得。 平成28年度まで中学校教諭として勤務し、平成29年4月より神村学園専修学校こども学科専任講師に就任(令和2年4月～令和5年3月まで教務主任、令和5年4月より学科長)。</p>		
授業目標	<p>本授業では、感性と表現に関する領域「表現」を理解し、子どもの音楽表現の姿やその発達を促す要因、子どもの音楽的感性や創造性を豊かにするさまざまな音楽表現遊びや環境構成など、音楽表現指導に関する専門的知識・技能・表現力を身につけることを目標とする。</p>		
授業内容	<p>第1・2回:領域「表現」の理解と音楽表現を扱う時の留意点 第3・4回:音楽表現活動と環境構成 第5・6回:歌唱活動を用いた音楽表現活動の理解と実践 第7・8回:器楽活動を用いた音楽表現活動の理解と実践 第9回:日本のこどものうたと歴史的背景の理解 第10回:園行事や伝統行事等における表現活動の意義 第11・12回:模擬保育 第13・14回:保育現場に応じた音楽を和音(コード)で表現する方法の理解と実践 第15回:幼保小連携と音楽表現活動の理解とまとめ</p>		
教材にかかわる情報	<p>八木正一監修『保育者養成のための音楽表現』大学図書出版 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」</p>		
評価にかかわる情報	<p>授業態度・課題提出・終講試験を基に総合的に評価します。</p>		
実務経験のある教員による実践的授業	<p>中学校教諭として音楽を教えていた経験や、幼児リミックスの経験をふまえた講義を行う</p>		

授業科目	こどもと造形Ⅰ	単位数	演習1単位
担当教員	桶田 洋明		
教員略歴	平成2年3月 筑波大学芸術専門学群 卒業 平成4年3月 筑波大学大学院修士課程 芸術研究科 修了 修士(芸術学) 平成4年4月～平成12年9月 長野県立軽井沢高等学校 教諭(美術) 平成12年10月～ 鹿児島大学教育学部 専任講師(平成13年4月～助教授、平成19年4月～准教授、平成27年4月～教授)		
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美術を愛好する精神と感性を養うことができる。 ・保育者として必要な技術及び幼児造形教育の原理を理解することができる。 ・幼児造形教育の歴史や、発達段階に応じた幼児の造形能力の順序や道筋を把握することができる。 		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児の造形表現の意義 2. 子どもの絵の発達と道筋 3. 幼児の発達と絵の指導 4. 手の活動の発達と遊び 5. 造形あそび 6. 造形の構成と色彩 7. モダンテクニック① 8. モダンテクニック② 9. 絵画の色材、技法 — スケッチ 10. 絵画の色材、技法 — クレヨン・水彩絵具 11. 立体表現と技法① 12. 立体表現と技法② 13. 美術の歴史、美術教育の歴史 14. 造形活動の環境づくり 15. まとめ 		
教材にかかわる情報	「造形表現論」豊岡短期大学通信教育部配本テキスト、「子どもの造形表現」教育情報出版 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版)(フレーベル館)		
評価にかかわる情報	授業態度、課題・小テスト提出を基に総合的に評価します。		
実務経験のある教員による実践的授業	高等学校美術教諭として、及び小学生向けワークショップ講師等の経験から、子どもの発達や興味関心に基づいた造形表現の講義を行う。		

授業科目	こどもと体育Ⅰ	単位数	演習1単位
担当教員	笠松 具晃		
教員略歴	東京学芸大学教育学部初等科教員養成課程保健体育専修卒業 センチュリー・リーシング・システム株式会社(現 東京センチュリー)新宿営業本部所属 平成4年より小学校教育に携わり、長崎県公立小学校教諭、東京学芸大学附属大泉小学校、 同大学附属小金井小学校、福岡市公立小学校教諭、佐賀県公立小学校教諭として勤務。 令和8年4月より神村学園専修学校こども学科 専任講師。 所有資格:小学校教諭一種免許、中学校教諭一種免許(保健体育)、高等学校教諭一種免許(保健体育)		
授業目標	運動遊びとこどもの成長発達との関係を理解し、運動遊びの種類と遊びのどの局面がこどもの心と身体や社会性の成長・発達にどのように役立つかを理解し、具体的な援助方法を習得する。同時に、こどもが楽しく、安全に遊びや運動遊びに取り組むための人的・物的環境についての理解を深める。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 表現とこどもの運動① 3. 表現とこどもの運動② 4. 表現とこどもの運動と発達① 5. 表現とこどもの運動と発達② 6. こどもと運動① 7. こどもと運動② 8. 表現と運動遊びの実践例① 9. 表現と運動遊びの実践例② 10. 表現とこどもの運動における保育者の役割① 11. 表現とこどもの運動における保育者の役割② 12. 安全指導① 13. 安全指導② 14. 園外保育と外遊び① 15. 園外保育と外遊び② 		
教材にかかわる情報	「表現とこどもの運動」(学校法人弘徳学園)、「幼稚園教育要領解説」(フレーベル館)、「保育所保育指針解説」(フレーベル館)、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(フレーベル館)、「子どもの発達と健康」(ナカニシヤ出版)		
評価にかかわる情報	レポート課題において、専門知識の理解、獲得及び思考表現により判定し評価する。 科目試験において、成績評価を判定を行う。		
実務経験のある教員による実践的授業	長年小学校高教諭として教えてきた経験を踏まえ、実践的な授業を行う。		

授業科目	こどもと言葉Ⅱ	単位数	演習1単位
担当教員	船津 啓治		
	鳴門教育大学大学院 学校教育研究科教科・領域教育専攻 言語系コース(国語)修了 長年、鹿児島県内(奄美市、薩摩川内市、霧島市、姶良市、屋久島町、曾於市)の小学校勤務 現在、神村学園専修学校こども学科専任講師 免許・資格:幼稚園教諭、小学校教諭専修、中学校教諭(国語)、司書教諭		
授業目標	本授業は、保育所保育指針や幼稚園教育要領が求める領域「言葉」を踏まえたうえで、児童文化財が子どもの言葉の習得にどのように役立つのかを理解し、保育の現場で使用される絵本を中心に、民話、わらべうた、紙芝居、指遊びなどの児童文化財を利用しての言葉の理解を目的とする。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 言葉とは何か・生活と言葉、言語環境としての保育者の言葉の在り方 2. 領域「言葉」の指導上の留意点と評価 3. 児童文化財の活用の仕方 4. 指遊びの重要性と模擬保育の実践 5. 絵本の読み方 6. 絵本から児童文学へ 7. 児童文学の読み方 8. 科学読み物の読み方 9. 文章の読み方 10. 文章を比べて読む読み方(物語) 11. 文章を比べて読む読み方(説明文) 12. 文章を工夫して読む読み方 13. 紙芝居の読み方 14. ペープサート、パネルシアター、ブラックシアターの実践 15. 言葉の年間授業計画と幼稚園、保育園、こども園と小学校との連携 		
教材にかかわる情報	「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 『比べ読みの可能性とその方法』溪水社		
評価にかかわる情報	実践の取り組み:25% 講義内提出物:25% 試験:50%		
実務経験のある教員による実践的授業	小学校教諭として、絵本を通した子どもの教育に長年取り組み、その実務経験をふまえた講義を行う		

授業科目	保育実践演習	単位数	演習2単位
担当教員	船津 啓治		
教員略歴	鳴門教育大学大学院 学校教育研究科教科・領域教育専攻 言語系コース（国語）修了 長年、鹿児島県内(奄美市、薩摩川内市、霧島市、姶良市、屋久島町、曾於市)の小学校勤務 現在、神村学園専修学校こども学科専任講師 免許・資格：幼稚園教諭、小学校教諭専修、中学校教諭（国語）、司書教諭		
授業目標	これまで形成された資質能力を確認し、これからの自己の課題の自覚と克服に努める。教職生活を円滑にスタートできるように、学校(保育)現場の視点に立った様々な場面でのリスクマネジメントや保育カンファレンス及び保育実技を通して、実践的指導力を身に付けることを目標とする。		
授業内容	1. 保育者という職業① 2. 保育者という職業② 3. 学級経営① 4. 学級経営② 5. 特別支援教育の基礎① 6. 特別支援教育の基礎② 7. 特別支援教育と保育者① 8. 特別支援教育と保育者② 9. 保育における集団の編成① 10. 保育における集団の編成② 11. 幼児教育の将来的展望① 12. 幼児教育の将来的展望② 13. 幼保小連携① 14. 幼保小連携② 15. 幼児教育のDVD鑑賞① 16. 幼児教育のDVD鑑賞② 17. 学級経営における臨床場面での保育者の対応(ロールプレイング)① 18. 学級経営における臨床場面での保育者の対応(ロールプレイング)② 19. 学級経営における臨床場面での保育者の対応(ロールプレイング)③ 20. 保育場面での対応と課題のある子どもの事例研究(レポート作成)② 21. 集団討論「教育課題の解決への保育者としてのアプローチ」① 22. 集団討論「教育課題の解決への保育者としてのアプローチ」② 23. 保育計画と模擬保育① 24. 保育計画と模擬保育② 25. 統合保育・異年齢保育に関わる課題と展望① 26. 統合保育・異年齢保育に関わる課題と展望② 27. 「幼保小連携」子どもの生活変化を踏まえた適切な指導の在り方① 28. 「幼保小連携」子どもの生活変化を踏まえた適切な指導の在り方② 29. 学習のまとめ、自己の振り返り、今後に向けての課題① 30. 学習のまとめ、自己の振り返り、今後に向けての課題②		
教材にかかわる情報	授業内容に合わせ、適時指示する。 「幼稚園教育要領解説」(フレーベル館)、「保育所保育指針解説」(フレーベル館)、 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(フレーベル館)		
評価にかかわる情報	授業の参加度(20%) 習熟度の確認(レポートなど・40%) 課題・実践への取り組み(提出物など・40%)		
実務経験のある教員による実践的授業	小学校教諭として、絵本を通した子どもの教育に長年取り組み、その実務経験をふまえた講義を行う		

授業科目	保育者論	単位数	講義2単位
担当教員	笠野 恵子		
教員略歴	平成29年 鹿児島国際大学福祉社会学研究科博士後期課程 修了 平成21年～平成27年 神村学園専修学校こども学科 専任講師、学科長 平成27年～平成31年 中九州短期大学幼児保育学科 教授、学科長 平成31年～令和4年 第一幼児短期大学 教授 保育士、幼稚園教諭専修免許状、高校福祉専修免許状 令和4～現在に至る 豊岡短期大学子ども学科 教授 実務経験:霧島市立横川保育所保育士(昭和53年～57年) 霧島市立佐々木保育所所長代理・主任保育士(昭和57年～59年)		
授業目標	現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職(保育)の意義、教職者(保育者)の役割・資質能力・職務内容などについての理解を深める。さらに、教職(保育)は、子どもの成長発達に指導・援助する仕事であることを理解し、教育(保育)への課題に関心を持ち、授業にかかわる専門性について学ぶとともに、教育(保育)のビジョンを明確にすることを主要なテーマにし、自分が目指す教職者像の確立を図る。		
授業内容	1. 教職(保育)の意義・定義・教職(保育)者とは 2. 教職(保育)者に求められる資質能力 3. 教員(保育者)養成の歴史 4. 教職(保育)者資質と役割 5. 指導計画 6. 教職(保育)者の仕事・義務・研修 7. 教職(保育)者の職場環境 8. 教職者の制度的な位置づけ 9. 教職者の任用と服務 10. 教育(保育)現場における子どもとのかかわり 11. 教育(保育)現場における家庭との連携 12. 教育(保育)観の変遷と教員(保育者)の役割 13. 職員間の連携、保育園、幼稚園、小学校との連携 14. 今日の教育課題に対応するために 15. よい教職者(保育者)のなるために		
教材にかかわる情報	「教職論」(配本テキスト) 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」		
評価にかかわる情報	評価は、定期試験60%、課題レポート15%(教育の現状と課題)、授業への参加度25%。		
実務経験のある教員による実践的授業			

授業科目	保育課程論	単位数	講義2単位
担当教員	笠野 恵子		
教員略歴	平成29年 鹿児島国際大学福祉社会学研究科博士後期課程 修了 平成21年～平成27年 神村学園専修学校こども学科 専任講師、学科長 平成27年～平成31年 中九州短期大学幼児保育学科 教授、学科長 平成31年～令和4年 第一幼児短期大学 教授 保育士、幼稚園教諭専修免許状、高校福祉専修免許状 令和4～現在に至る 豊岡短期大学子ども学科 教授 実務経験:霧島市立横川保育所保育士(昭和53年～57年) 霧島市立佐々木保育所所長代理・主任保育士(昭和57年～59年)		
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の内容の充実と質の向上に資する教職課程・保育過程について理解する。 ・教育課程・保育過程の編成と指導計画の作成について、意義や方法を具体的に習得する。 ・編成・実践・点検・評価・改善の過程についてその全体像を能動的にとらえる。 ・保護者や関係機関との連携について学ぶ。 		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育課程・保育過程編成の基本的な考え方 2. カリキュラムの基礎理論 3. 日本における教育課程・各国の教育課程の変遷 4. 事態の変化に応じた幼稚園の教育課程の在り方、編成と評価 5. 教育課程の法と行政 6. 学習指導要領の変遷とその特色 7. 園での生活と長期・短期の指導計画 8. 教育課程・保育過程の変遷の実際 9. 保育の基本と実践 10. 学びをつなぐ幼稚園保育園小学校連携プログラム 11. 明治・大正・昭和の保育の歴史 12. 危機管理保育のカリキュラムの意義と必要性 13. 幼稚園教育要領・保育所保育指針の変遷 14. 教育課程をめぐる問題 15. 信頼される園づくりと学校評議員制度 		
教材にかかわる情報	「教育過程論」豊岡短期大学配本テキスト 「幼稚園教育要領解説」(フレーベル館)、「保育所保育指針解説」(フレーベル館)、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(フレーベル館)		
評価にかかわる情報	評価は、定期試験60%、課題レポート15%(教育の現状と課題)、授業への参加度25%。		
実務経験のある教員による実践的授業	長年、保育所保育士として保育分野に携わってきた豊富な経験をふまえた講義を行う		

神村学園専修学校こども学科 シラバス(2026)

授業科目	保育指導法	単位数	演習1単位
担当教員	神田 諭志		
教員略歴	平成23年 3月 志學館大学 人間関係学部 心理臨床学科 卒業 平成25年～令和2年 学校法人神村学園高等部 保育科 教諭 令和2年～令和5年 学校法人都築教育学園第一幼児教育短期大学 講師 令和5年～ 神村学園専修学校こども学科 専任講師 免許・資格:保育士、高等学校教諭1種免許(公民)、社会福祉主事任用資格、おもちゃイン		
授業目標	乳幼児期の子どもに対する教育・保育の方法については、長い歴史をかけて世界的にも議論がなされてきている。これは、どのような方法で教育・保育が行われるのかということが、子どもの育ちや学びに影響を与えるためである。このことを踏まえた上で、保育指導法では乳幼児期の子どもに対する教育・保育の方法について理論的に学んでいく。そして、実践事例をもとにワークや演習問題に取り組み、乳幼児期の子どもに対する教育・保育の方法に関する知識を増やすのみでなく、自分で判断する力も養っていくことを授業の目標とする。		
授業内容	1. 保育方法とは何か (1) ①保育方法とは 2. 保育方法とは何か (2) ①幼児教育・保育の基本 3. 子ども理解に基づいた保育方法と評価 4. 子どもにふさわしい園生活と保育形態 5. 養護と教育が一体となった保育の方法 6. 環境を通した保育の方法 7. 環境を通した保育の方法 8. 0・1・2歳児の発達に応じた保育方法 9. 3・4・5歳児の発達に応じた保育方法 10. 保育の計画・実践・評価 11. 家庭・地域と連携した保育 12. 小学校との接続のデザイン (1) ①接続期のカリキュラム 13. 小学校との接続のデザイン (2) ②幼児期の教育と学校教育との違い 14. 配慮を要する子どもへの保育方法 15. 教材や情報機器を活かした保育方法		
教材にかかわる情報	新しい保育講座⑥保育方法・指導法(株式会社ミネルヴァ書房) 保育所保育指針(株式会社フレーベル館)		
評価にかかわる情報	授業態度・出席率(小テスト)(30%) / 試験(70%)で総合的評価をします		
実務経験のある教員による実践的授業	長年、保育所保育士として保育分野に携わってきた豊富な経験をふまえた講義を行う		

授業科目	こどもと音楽Ⅰ	単位数	演習2単位
担当教員	柏木 祐香		
教員略歴	<p>広島大学教育学部を卒業後、音楽教育学を専攻し、鹿児島大学大学院教育実践総合専攻を修了(教育学修士)。中学校・高等学校教諭専修免許状(音楽)取得。 平成28年度まで中学校教諭として勤務し、平成29年4月より神村学園専修学校こども学科専任講師に就任(令和2年4月～令和5年3月まで教務主任、令和5年4月より学科長)。</p>		
授業目標	<p>こどもの豊かな感性を育むために、毎日の保育でさまざまな音楽に触れることは大変重要である。それに伴い、保育者にとってピアノでの童謡や生活曲の伴奏は、必要不可欠な保育技術の一つである。 本科目では、毎日の生活の中で歌われる歌や季節や行事に関連した歌など、保育現場で使用される様々な楽曲の歌と伴奏を習得することを目指す。1対1の個人レッスンまたはグループレッスン形式で行い、弾き歌いで演奏できることを最終目標とする。</p>		
授業内容	<p>第1回:オリエンテーション、個人練習 第2～14回:個人またはグループ実技指導 第15回:中間実技試験 第16～29回:個人またはグループ実技指導 第30回:最終実技試験</p>		
教材にかかわる情報	<p>鹿児島市立幼稚園協会編「うたとあそび」 小林美実編「こどものうた200」 その他童謡楽譜集を各自で用意する。</p>		
評価にかかわる情報	<p>平常点:3割、実技試験:7割 で評価します。</p>		
実務経験のある教員による実践的授業	<p>中学校教諭として音楽を教えていた経験や、幼児リミックの経験をふまえた講義を行う</p>		

授業科目	こどもと造形 II	単位数	演習1単位
担当教員	桶田 洋明		
教員略歴	平成2年3月 筑波大学芸術専門学群 卒業 平成4年3月 筑波大学大学院修士課程 芸術研究科 修了 修士(芸術学) 平成4年4月～平成12年9月 長野県立軽井沢高等学校 教諭(美術) 平成12年10月～ 鹿児島大学教育学部 専任講師(平成13年4月～助教授、平成19年4月～准教授、平成27年4月～教授)		
授業目標	・美術を愛好する精神と感性を養うことができる。 ・保育者として必要な技術及び幼児造形教育の原理を理解することができる。 ・幼児造形教育の歴史や、発達段階に応じた幼児の造形能力の順序や道筋を把握することができる。		
授業内容	1. 授業内容の説明、人と造形表現について 2. こどもの絵の発達段階と意義 3. 造形あそびの意義と指導、援助① 4. 造形あそびの意義と指導、援助② 5. 造形の基本 6. 色彩について 7. 構成・構図のポイント 8. 立体造形① 9. 立体造形② 10. クレヨン・水彩絵具によるモダンテクニック① 11. クレヨン・水彩絵具によるモダンテクニック② 12. クレヨン・水彩絵具によるモダンテクニック③ 13. 水彩画① 14. 水彩画② 15. まとめ		
教材にかかわる情報	「造形表現論」豊岡短期大学通信教育部配本テキスト、「子どもの造形表現」教育情報出版 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版)(フレーベル館)		
評価にかかわる情報	授業態度・課題・作品提出を基に総合的に評価します。		
実務経験のある教員による実践的授業	高等学校美術教諭として、及び小学生向けワークショップ講師等の経験から、子どもの発達や興味関心に基づいた造形表現の講義を行う。		

授業科目	保育実習指導Ⅰ	単位数	演習2単位
担当教員	泊明希佳		
教員略歴	鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科(博士前期課程修了) 鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科(博士後期課程所属) 平成29年度末まで、鹿児島県内保育所にて保育士として勤務後、平成30年度より本学こども学科専任講師として就任。免許・資格:保育士、幼稚園教諭、司書		
授業目標	実習の意義・目的を理解し、今までの学びを考えながら、子どもをどう援助していくか演習を通して考える。実習の流れと心得をテキストを中心に学び、自分の実習課題を考える。(演習)保育指導案・実習日誌の書き方を学ぶ。事後指導では、実習の振り返り・自己評価を行い新たな課題や目標を設定する。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の意義・目的を理解する 2. 保育所とは何か、その現状と課題 3. 新保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領 4. 保育所の職場構成と連携 5. 社会人のマナー ほうれんそう(報告・連絡・相談)の重要性 6. 乳幼児の年齢別発達の特徴 7. 緊急時の対応(ケガ・地震・火事等)、事故予防について 8. 実習の種類(参観実習・参加実習・責任実習)とは何か 9. 実習日誌の書き方・保育指導案の立て方 10. 保育技術の利用 絵本の読み方・手遊びの仕方・ピアノ等 11. 児童福祉施設の種別および特徴 12. 社会的養護の原理・原則および支援について 13. プライバシーの保護と守秘義務 14. 児童福祉施設のおも職種および他機関との連携の仕方 15. 事後学習 実習の総括と自己評価 新たな課題や自己目標の明確化 		
教材にかかわる情報	改訂新版 実習の記録と指導案(ひかりのくに) 幼稚園・保育所・認定こども園実習 パーフェクトガイド(わかば社)		
評価にかかわる情報	レポート課題における専門知識の理解、獲得及び思考表現により判定し評価する 科目試験の結果により判定し評価する		
実務経験のある教員による実践的授業	保育所保育士としての実務経験をふまえて講義を行う		

授業科目	保育実習指導Ⅱ	単位数	演習1単位
担当教員	泊明希佳		
教員略歴	鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科(博士前期課程修了) 鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科(博士後期課程所属) 平成29年度末まで、鹿児島県内保育所にて保育士として勤務後、平成30年度より本学こども学科専任講師として就任。免許・資格:保育士、幼稚園教諭、司書		
授業目標	保育現場での実践を、自分のものとして身につけられることをねらいとする。他授業で学んだ知識および保育実習Ⅰで学んだ内容を振り返り、実習で生かせるように準備する。 また、保育の援助技術とは何かについて理解し、実習を通して、保育の援助技術を自分のものとして身につけ、専門性を高められるようにする。そして、それらのねらいの全てが子どもの「最善の利益を保障する」ためのものであることを確認する。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習Ⅰの振り返りと実践的な自己課題の決定 (何々について研究的に学びたい、頑張りたい等の決意) 2. 保育知識のおさらいと実習で身につけてきてほしいこと ・子どもの発達 3. 保育知識のおさらいと実習で身につけてきてほしいこと ・5領域のねらいと現場での視点 4. 保育知識のおさらいと実習で身につけてきてほしいこと ・子どもの基本的な生活習慣の獲得 5. 保育知識のおさらいと実習で身につけてきてほしいこと ・保育支援 6. 保育知識のおさらいと実習で身につけてきてほしいこと ・遊びを展開するための知識と環境設定 7. 保育知識のおさらいと実習で身につけてきてほしいこと ・子どもの心に寄り添う保育 8. 保育知識のおさらいと実習で身につけてきてほしいこと ・環境構成の技術 9. 保育知識のおさらいと実習で身につけてきてほしいこと ・人間関係構築の技術 10. 責任実習に向けての保育指導案の立案の方法 11. 責任実習実施のための留意点 12. 実習中の諸注意のまとめ ・保育者としての倫理 13. 実習中の諸注意のまとめ ・守秘義務 14. 実習中の諸注意のまとめ ・プライバシーの保護 15. 実習の振り返り 		
教材にかかわる情報	改訂新版 実習の記録と指導案(ひかりのくに) 幼稚園・保育所・認定こども園実習 パーフェクトガイド(わかば社)		
評価にかかわる情報	授業態度・課題提出・保育技術の実技試験を基に総合的に評価します。		
実務経験のある教員による実践的授業	保育所保育士としての実務経験をふまえて実習指導を行う		

授業科目	保育実習指導Ⅲ	単位数	演習1単位
担当教員	神田 諭志		
教員略歴	平成23年 3月 志學館大学 人間関係学部 心理臨床学科 卒業 平成25年～令和2年 学校法人神村学園高等部 保育科 教諭 令和2年～令和5年 学校法人都築教育学園第一幼児教育短期大学 講師 令和5年～ 神村学園専修学校こども学科 専任講師 免許・資格:保育士、高等学校教諭1種免許(公民)、社会福祉主事任用資格、おもちゃインストラクター		
授業目標	児童福祉施設における保育者の専門性について理解する 児童福祉施設に暮らす子どもたちの生活や保護者支援について理解する 施設内の連携、他機関との連携について理解する 実習事後指導を通して総括と自己評価を行い、保育に対する課題を明確にする		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童福祉施設の施設種の理解① 2. 児童福祉施設の施設種の理解② 3. 社会的養護の現状について① 4. 社会的養護の現状について② 5. 自分の行く実習施設種を中心とした実習施設の現状と問題点① 6. 自分の行く実習施設種を中心とした実習施設の現状と問題点② 7. 児童福祉施設における子どもの支援、親支援の現状について 8. 乳児院・児童福祉施設などへの入所理由の理解と子ども支援・親支援の実際 9. 障がいの特徴と支援上の留意点 10. 老人関係の施設種と老人の福祉について 11. 社会的弱者支援の基本を知る① 12. 社会的弱者支援の基本を知る② 13. 個別支援計画と他機関の連携について① 14. 個別支援計画と他機関の連携について② 15. 事後指導における実習の総括と評価 		
教材にかかわる情報	適宜資料を配布する		
評価にかかわる情報	授業態度・課題提出・保育技術の実技試験を基に総合的に評価します。		
実務経験のある教員による実践的授業			

授業科目	音楽表現論Ⅰ	単位数	演習1単位
担当教員	柏木 祐香		
教員略歴	<p>広島大学教育学部を卒業後、音楽教育学を専攻し、鹿児島大学大学院教育実践総合専攻を修了(教育学修士)。中学校・高等学校教諭専修免許状(音楽)取得。 平成28年度まで中学校教諭として勤務し、平成29年4月より神村学園専修学校こども学科専任講師に就任(令和2年4月～令和5年3月まで教務主任、令和5年4月より学科長)。</p>		
授業目標	<p>保育者には、子どもの遊びを豊かに展開するために音楽表現に関する知識や技術の習得が必要となる。本科目では、主に音楽理論について学習し、音楽の持つ様々な要素を、身体全体を使った動きで体験し、基礎的な音楽の理解を高める。</p>		
授業内容	<p>第1回:オリエンテーション 第2回:音楽の3要素 第3,4回:音符と休符について 第5,6回:リズムと拍子 第7・8回:音の要素を使った身体的表現 第9,10回:音階と調 第11・12回:手作り楽器による表現活動の展開法 第13,14回:和音とコード 第15回:まとめ</p>		
教材にかかわる情報	<p>神原雅之監修『1～5歳のかたんりミック』ナツメ社 青島広志著『やさしくわかる楽典』日本実業出版社 八木正一監修『保育者養成のための音楽表現』大学図書出版</p>		
評価にかかわる情報	<p>授業態度・課題提出・終講試験を基に総合的に評価します。</p>		
実務経験のある教員による実践的授業	<p>中学校教諭として音楽を教えていた経験や、幼児リズムの経験をふまえた講義を行う</p>		

授業科目	卒業研究ゼミナール	単位数	演習2単位
担当教員	柏木祐香 泊明希佳 笠松具晃 船津啓治 神田諭志		
教員略歴	<p>柏木祐香：広島市公立学校教諭（中学校音楽）（平成24年4月～平成28年7月）／神村学園附属幼稚園 音楽会指導員（平成29年4月～現在）／平成29年～神村学園専修学校こども学科専任講師</p> <p>泊明希佳：社会福祉法人真和会「阿多こども園」保育士（平成21年～平成29年）／平成30年～神村学園専修学校こども学科専任講師</p> <p>笠松具晃：平成4年より小学校教育に携わり、長崎県公立小学校教諭、東京学芸大学附属大泉小学校、同大学附属小金井小学校、福岡市公立小学校教諭、佐賀県公立小学校教諭として勤務／令和8年4月～神村学園専修学校こども学科専任講師</p> <p>船津啓治：鹿児島県公立小学校教諭として昭和64年～令和7年3月まで勤務／令和8年4月～神村学園専修学校こども学科専任講師</p> <p>神田諭志：神村学園高等部保育科 教諭（平成25年4月～令和2年3月）／都築教育学園第一幼児教育短期大学 幼児教育科 講師（令和2年4月～令和5年3月）／令和5年～神村学園専修学校こども学科専任講師</p>		
授業目標	<p>学生が研究課題を選択し、担当教員の指導の下、課題についての調査や分析を通して、物事を客観的、科学的に捉え考察していく。それらの研究活動を通して、将来、保育現場で活かせる視点や能力を養う。</p>		
授業内容	<p>各実務家教員がゼミナールのテーマを決め、それぞれのテーマを希望した学生に計30回のゼミナール演習を実施する。ゼミナール指導を通し、それぞれのテーマについて研究レポートをまとめる。</p>		
教材にかかわる情報	<p>希望したテーマに合わせ、適時指示する。 「幼稚園教育要領解説」(フレーベル館)、「保育所保育指針解説」(フレーベル館)、 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(フレーベル館)</p>		
評価にかかわる情報	<p>授業の参加度(20%) 習熟度の確認(レポートなど・40%) 課題・実践への取り組み(提出物など・40%)</p>		
実務経験のある教員による実践的授業	<p>福祉・教育(音楽)・初等教育・保育・幼児教育のそれぞれの分野での実務経験をふまえたゼミナール演習を行う</p>		

神村学園専修学校こども学科 シラバス(2026)

授業科目	社会的養護Ⅱ	単位数	演習1単位
担当教員	下木猛史		
教員略歴	学位:社会福祉学修士 平成元年～平成13年 児童心理治療施設「横浜いずみ学園」児童指導員 平成14年～平成29年 児童心理治療施設「鹿児島自然学園」総括主任 平成29年4月～令和5年3月 神村学園専修学校こども学科専任教員(平成30年～学科長) 令和5年4月～ 学校法人純真学園 純真短期大学こども学科教授(令和7年～学科長) 令和8年4月～ 児童心理治療施設「こどもLECセンター」(熊本県)基幹的職員		
授業目標	子どもの理解をふまえた社会的養護の基礎内容について具体的に理解する 施設養護及び家庭養護の実際について理解する 社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について理解する 社会的養護にかかわる相談援助の方法・技術について理解する 社会的養護における子どもの虐待の防止と家庭支援について理解する		
授業内容	1. 授業ガイダンス 2. 社会的養護Ⅰのふりかえり 3. 子どもたちは施設入所をどう捉えているか 4. アドミッションケア① 子どもの保護について(一時保護について) 5. アドミッションケア② 子どもの受け入れ(施設としての準備) 6. インケア① 生活を共にする 7. インケア② 生活を共にする 8. インケア③ 虐待を受けた子どもの行動の理解 9. インケア④ 治療的支援(個別支援) 10. インケア⑤ 治療的支援(グループワーク) 11. リービングケア① 社会への巣立ち 12. リービングケア② 社会への巣立ち 13. アフターケア 14. ケーススタディ 15. まとめ		
教材にかかわる情報	プリントを綴ったファイルを各自に配布します。授業に際は必ず持参してください		
評価にかかわる情報	授業態度(20%)／課題提出(30%)／試験(50%)で総合的評価をします		
実務経験のある教員による実践的授業	長年、児童福祉施設に勤務し、社会的養護をもとで生活する子どもたちとかかわってきた豊富な実務経験をふまえて講義を行う		

授業科目	こどもと言葉Ⅰ	単位数	講義2単位
担当教員	船津 啓治		
	鳴門教育大学大学院 学校教育研究科教科・領域教育専攻 言語系コース(国語)修了 長年、鹿児島県内(奄美市、薩摩川内市、霧島市、姶良市、屋久島町、曾於市)の小学校勤務 現在、神村学園専修学校こども学科専任講師 免許・資格:幼稚園教諭、小学校教諭専修、中学校教諭(国語)、司書教諭		
授業目標	本授業は、保育所保育指針や幼稚園教育要領が求める領域「言葉」を踏まえたうえで、児童文化財が子どもの言葉の習得にどのように役立つのかを理解し、保育の現場で使用される絵本を中心に、民話、わらべうた、紙芝居、指遊びなどの児童文化財を利用した言葉の理解を目的とする。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、子どもの言葉の発達に必要なこと 2. 表現すること 3. 文章表現 4. わらべうた理論、伝承遊び 5. わらべうた実技 6. 絵本を読み聞かせるということ 7. 赤ちゃん絵本について 8. 1歳児から2歳児、2歳児から3歳児の絵本について 9. 3歳児から4歳児、4歳児から5歳児の絵本について 10. 5歳児から6歳児の絵本、幼年童話から童話について 11. 民話を読むということ 12. 紙芝居を読むということ 13. 指遊び、ペープサートの実演 14. 絵本、紙芝居、ペープサート制作 15. 制作発表 		
教材にかかわる情報	「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」		
評価にかかわる情報	学習状況:レポート課題において専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価		
実務経験のある教員による実践的授業	小学校教諭として、絵本を通した子どもの教育に長年取り組み、その実務経験をふまえた講義を行う		

授業科目	器楽Ⅰ	単位数	演習1単位
担当教員	榎田愛・古木美和		
教員略歴	<p>榎田愛:エリザベト音楽大学を卒業後、鹿児島大学大学院教育実践総合専攻を修了(教育学修士)。中学校・高等学校教諭専修免許状(音楽)取得。 Music Garden 松永愛ピアノ教室主宰、神村学園専修学校こども学科非常勤講師、鹿児島実業高等学校非常勤講師、鹿児島県文化振興財団アーティストバンク登録アーティスト。</p> <p>古木美和:作陽短期大学専攻科卒業。発達支援教育士。ヤマハ音楽教室のシステム講師経験を経て、現在おとのは音楽教室主宰、子育て支援サークル「まあるくなーれ」専属講師。</p>		
授業目標	<p>保育に従事する者として必要なピアノの技術習得を目指す。演奏する上で重要な姿勢、手の形、楽譜の読み方、フレージングや表現方法などを、バイエル教則本などの練習曲を用いて1対1の個人レッスン形式またはグループレッスン形式で行う。</p>		
授業内容	<p>第1回:オリエンテーション、個別指導による課題設定</p> <p>第2～14回:個別指導</p> <p>第15回:最終実技試験</p>		
教材にかかわる情報	標準バイエルピアノ教則本、ブルグミュラー25の練習曲、ソナチネアルバム1 他		
評価にかかわる情報	授業の取り組み及び実技試験の内容を踏まえ、総合的に評価します		
実務経験のある教員による実践的授業	ピアノ教室で指幅広い世代を導いている経験や、リトミック教室の経験をふまえた指導を行う。		

授業科目	器楽Ⅱ	単位数	演習1単位
担当教員	榎田愛・古木美和		
教員略歴	<p>榎田愛:エリザベト音楽大学を卒業後、鹿児島大学大学院教育実践総合専攻を修了(教育学修士)。中学校・高等学校教諭専修免許状(音楽)取得。 Music Garden 松永愛ピアノ教室主宰、神村学園専修学校こども学科非常勤講師、鹿児島実業高等学校非常勤講師、鹿児島県文化振興財団アーティストバンク登録アーティスト。</p> <p>古木美和:作陽短期大学専攻科卒業。発達支援教育士。ヤマハ音楽教室のシステム講師経験を経て、現在おとのは音楽教室主宰、子育て支援サークル「まあるくなーれ」専属講師。</p>		
授業目標	<p>保育に従事する者として必要なピアノの技術習得を目指す。演奏する上で重要な姿勢、手の形、楽譜の読み方、フレージングや表現方法などを、器楽Ⅰで習得した技術を応用させながら1対1の個人レッスン形式またはグループレッスン形式で行う。</p>		
授業内容	<p>第1回:オリエンテーション、個別指導による課題設定</p> <p>第2～14回:個別指導</p> <p>第15回:最終実技試験</p>		
教材にかかわる情報	<p>標準バイエルピアノ教則本、ブルグミュラー25の練習曲、ソナチネアルバム1 他</p>		
評価にかかわる情報	<p>授業の取り組み及び実技試験の内容を踏まえ、総合的に評価します</p>		
実務経験のある教員による実践的授業	<p>ピアノ教室で指幅広い世代を導いている経験や、リトミック教室の経験をふまえた指導を行う。</p>		

授業科目	こどもと体育Ⅱ	単位数	演習1単位
担当教員	笠松 具晃		
教員略歴	東京学芸大学教育学部初等科教員養成課程保健体育専修卒業 センチュリー・リーシング・システム株式会社(現 東京センチュリー)新宿営業本部所属 平成4年より小学校教育に携わり、長崎県公立小学校教諭、東京学芸大学附属大泉小学校、 同大学附属小金井小学校、福岡市公立小学校教諭、佐賀県公立小学校教諭として勤務。 令和8年4月より神村学園専修学校こども学科 専任講師。 所有資格:小学校教諭一種免許、中学校教諭一種免許(保健体育)、高等学校教諭一種免許 (保健体育)		
授業目標	各種の運動遊びの実践を通して、運動遊びの中の基本動作や身体刺激について理解を深めるととも に、こどもの心身の発達や安全教育や安全指導に関する知識を身に付け、具体的な援助方法を習 得する。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. アクティブ チャイルド プログラム① 3. 幼児期から児童期にかけての運動発達 4. アクティブ チャイルド プログラム② 5. アクティブ チャイルド プログラム③ 6. 遊びの分析① 7. 遊びの分析② 8. 遊びの分析③ 9. 運動発達に効果的なボール遊び① 10. 運動発達に効果的なボール遊び② 11. 運動発達に効果的なボール遊び② 12. 指導計画と実践① 13. 指導計画と実践② 14. 指導計画と実践③ 15. 講義のまとめ 		
教材にかかわる 情報			
評価にかかわる 情報	授業の参加度及び習熟度の確認により総合的に評価する。		
実務経験のある 教員による実践 的授業	長年小学校高教諭として教えてきた経験を踏まえ、実践的な授業を行う。		

神村学園専修学校こども学科 シラバス(2026)

授業科目	こどもと人間関係	単位数	講義2単位
担当教員	中村誠文		
教員略歴	鹿児島純心大学人間教育学部教育・心理学科／大学院人間科学研究科心理臨床学専攻 教授 臨床心理士・公認心理師 専門分野:臨床心理学・家族心理学		
授業目標	社会生活をおくる上で、人間関係は大きなテーマでもある。乳幼児期から人間関係は、発達と環境との相互作用により形成されていく。子どもを取り巻く環境を理解し、領域「人間関係」における保育及び教育の目標と内容を理解しながら人間関係を形成していくための方法を学ぶ。 1. 人間関係の重要性を理解し、人間関係の発達と環境との相互作用についても理解ができている。 2. 領域「人間関係」の保育及び教育の目標と内容を理解できている。 3. 子どもを取り巻く人間関係をめぐる課題について理解し、子どもと養育者の置かれている現状を理解することができる。		
授業内容	1. 人間関係とは 2. 人間と人間関係の理解（1）－自己理解－ 3. 人間と人間関係の理解（2）－他者理解－ 4. 領域「人間関係」における保育及び教育の目標 5. 領域「人間関係」におけるねらいと内容 6. 子どもを取り巻く環境について 7. コミュニケーションのプロセス 8. 感情との付き合い方 9. 人間関係理解のための集団力学（1） 10. 人間関係理解のための集団力学（2） 11. 遊びの中で人との関わりを育てる保育の実践（1） 12. 遊びの中で人との関わりを育てる保育の実践（2） 13. 特別な配慮が必要な子への保育 14. 児童虐待と不適切保育 15. 園・家庭・地域における連携と協働		
教材にかかわる情報	「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「人間関係論」豊岡短期大学配本テキスト		
評価にかかわる情報	授業態度(20%)／試験(80%)で総合的評価をします		
実務経験のある教員による実践的授業	保育所やこども園での相談員、スクールカウンセラーや保健センターにて長年、心理相談業務に心理専門職として携わってきた豊富な経験をふまえた講義を行う		

授業科目	こどもと音楽Ⅱ	単位数	演習1単位
担当教員	柏木 祐香		
教員略歴	広島大学教育学部を卒業後、音楽教育学を専攻し、鹿児島大学大学院教育実践総合専攻を修了(教育学修士)。中学校・高等学校教諭専修免許状(音楽)取得。 平成28年度まで中学校教諭として勤務し、平成29年4月より神村学園専修学校こども学科専任講師に就任(令和2年4月～令和5年3月まで教務主任、令和5年4月より学科長)。		
授業目標	こどもの豊かな感性を育むために、毎日の保育でさまざまな音楽に触れることは大変重要である。それに伴い、保育者にとってピアノでの童謡や生活曲の伴奏は、必要不可欠な保育技術の一つである。 本科目では、こどもと音楽Ⅰで学習したことを基に、保育現場で使用される様々な楽曲の演奏技術をさらに高めるとともに、それらを使用した豊かな音楽活動の展開方法について、模擬保育の実践を通して学ぶ。		
授業内容	1. オリエンテーション、個別実技指導 2. } 3. } 4. } 5. } 個別実技指導 6. } 7. } 8. } 9. } 10. } こどもの実態を踏まえた表現活動について 11. } 指導案作成 12. } 13. } 模擬保育実践 14. } 15. 最終実技試験		
教材にかかわる情報	鹿児島市立幼稚園協会編「うたとあそび」 小林美実編「こどものうた200」 その他童謡楽譜集を各自で用意する。		
評価にかかわる情報	授業の取り組み、指導案、実技試験の内容から総合的に評価します。		
実務経験のある教員による実践的授業	中学校教諭として音楽を教えていた経験や、幼児リミックスの経験をふまえた講義を行う。		

授業科目	教育方法論	単位数	講義 2 単位
担当教員	福島 豪		
教員略歴	明治大学文学部文学科フランス文学専攻卒業 早稲田大学大学院教育学研究科学校教育専攻修士課程修了（教育学） 函館大谷短期大学こども学科講師を経て、現在、鹿児島国際大学福祉社会学部児童学科准教授		
授業目標	教育方法の定義、意義、守備範囲の概念についての基本的知識を習得し、教育目標、教育内容、評価との関係性についての理解を深めるとともに、教育(保育)現場における様々な課題を解決する教育(保育)方法とその活用についての理解を深め、保育者として必要な資質を培うことを目標とする。		
授業内容	1 教育方法の定義・意義と守備範囲 2 教育方法の歴史的展開①(西欧の教育方法) 3 教育方法の歴史的展開②(近・現代の教育方法) 4 教育方法の歴史的展開③(日本の教育方法) 5 教育技術の革新と情報機器の活用 6 教材・教具の理解と活用 7 特色ある授業実践 8 教育現場における授業技術 9 授業分析と授業評価 10 授業展開の構想 11 幼児の理解と幼児教育の方法 12 近代以降の幼児教育方法 13 幼稚園教育要領と幼保連携型認定こども園教育・保育要領 14 幼児教育内容と小学校の教育内容 15 教育方法の課題と展望		
教材にかかわる情報	「教育方法論」(配本テキスト) 「幼稚園教育要領解説」(フレーベル館)、「保育所保育指針解説」(フレーベル館)、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(フレーベル館)		
評価にかかわる情報			
実務経験のある教員による実践的授業			

授業科目	教育相談	単位数	講義 2 単位
担当教員	山下 みどり		
教員略歴	鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科 修了(心理臨床学) 文部科学省派遣事業鹿児島県スクールカウンセラー、日置市子ども支援センターカウンセラー 鹿児島大学教育学部・共通教育非常勤講師(学校教育相談、ピアカウンセリング入門) 公認心理師、臨床心理士、上級教育カウンセラー、ガイダンスカウンセラー、構成的グループエンカウンター公認		
授業目標	日々の保育のなかに、またその線上に保育・教育相談を位置づけ、 1.さまざまな子どもの特徴やニーズと発達を知ること、 2.相談やコンサルテーションを行うための具体的な方法を習得すること、 3.実際に保育の場でよくある相談内容を知り考えることで、保育・教育相談の基礎知識を身につけることをねらいとする。		
授業内容	1. 保育の場における相談ニーズとカウンセリング・マインド 2. 基礎的対人関係のトレーニング 3. 基礎的対人関係のトレーニングの実践 4. 子どもの発達理解と相談・支援① 5. 子どもの発達理解と相談・支援② 6. 保護者への対応ー子育て支援の視点から 7. 保護者の要望等のとらえ方とその対応 8. 発達障害や気になる子どもとは 9. 発達障害や気になる子どもの保護者へのかかわり 10. 子どもの発達とアセスメントー子ども理解のために 11. カウンセリングの基礎理論 12. 保育場面でのカウンセリング技法の活用 13. 園・地域における専門家との連携による相談・支援 14. 保育におけるコンサルテーション 15. 保育者の専門性と相談活動		
教材にかかわる情報	「幼稚園教育要領解説」「保育所保育士指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」		
評価にかかわる情報	学習状況:レポート課題において専門知識の理解、獲得及び思考表現により評価		
実務経験のある教員による実践的授業	幼稚園教諭として子どもたちの教育に携わってきた豊富な経験をふまえて教育実習に向けた指導および実習事後指導を行う		

授業科目	教育実習事前事後指導	単位数	演習1単位
担当教員	泊明希佳		
教員略歴	鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科(博士前期課程修了) 鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科(博士後期課程所属) 平成29年度末まで、鹿児島県内保育所にて保育士として勤務後、平成30年度より本学こども学科専任講師として就任。免許・資格:保育士、幼稚園教諭、司書		
授業目標	保育現場での実践を、自分のものとして身につけられることをねらいとする。他授業で学んだ知識および保育実習1で学んだ内容を振り返り、実習で生かせるように準備する。 また、保育の援助技術とは何かについて理解し、実習を通して、保育の援助技術を自分のものとして身につけ、専門性を高められるようにする。そして、それらのねらいの全てが子どもの「最善の利益を保障する」ためのものであることを確認する。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園教育実習とは 2. 幼稚園の役割と機能 3. 幼稚園教育の基本 4. 実習に向けての準備① 5. 実習に向けての準備② 6. 幼稚園教育実習の内容 7. 指導計画案の立て方① 8. 幼稚園教育実習の内容 9. 幼稚園教育実習の内容 10. 指導計画案の立て方② 11. 指導計画案の立て方③ 12. 指導計画案の立て方④ 13. 実習記録簿の書き方 14. 事後指導 15. 事後指導 		
教材にかかわる情報	・豊岡短期大学「教育実習事前・事後指導」(幼稚園) ・文部科学省「幼稚園教育要領解説」(フレーベル館)平成29年		
評価にかかわる情報	授業態度・課題提出・保育技術の実技試験を基に総合的に評価します。		
実務経験のある教員による実践的授業	保育所保育士としての実務経験をふまえ実習指導を行う		